



令和3年2月25日  
第十管区海上保安本部

## 令和2年7月豪雨で被災した八代港の海図を 最新の情報で発行します

海上保安庁は、令和2年7月豪雨で被災した八代港の岸壁や航路等を測量し、この成果を採り入れた海図 W1243「八代港」を2月26日に発行します。

海上保安庁は、船舶の安全な航海に必要となる水深、灯台等の航路標識、港湾施設等の情報を記載した「海図」を作製し、発行しています。

熊本県を代表する国際港湾である八代港は、令和2年7月豪雨で、土砂の流入等により水深が浅くなるとともに、水中障害物が存在していることが判明しました。

このため、当庁は水路通報等により安全周知を行うとともに、当本部所属の測量船「いそしお」により八代港の岸壁や航路等を測量し、海図 W1243「八代港」の改訂を行い、2月26日に発行します。

今回の海図発行により、これまでの海図 W1243（平成21年10月刊行）は、**航海に使用できなくなります。**

当庁は、今後も、港湾の復旧工事の進捗に伴う情報を採り入れ、海図の最新維持を行っていきます。

### ○発行する海図の概要

海図番号	図名	縮尺	サイズ	価格(税込み)
W1243	八代港	1/15,000	全紙 1,085mm×765mm	3,520円

### ○海図の入手方法等

以下の第十管区海上保安本部海洋情報部ホームページをご覧ください。  
「海の相談室」にお問い合わせください。

#### ■ホームページアドレス

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/index.html>

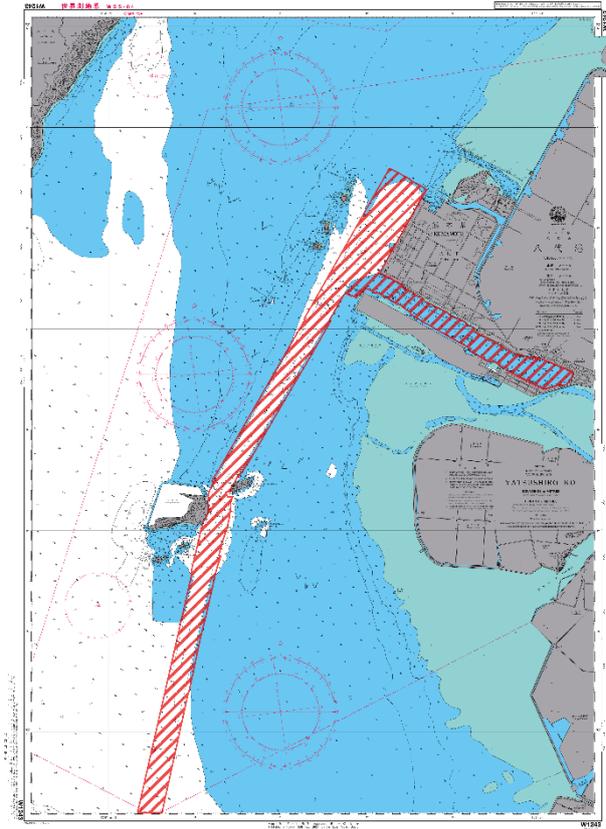
#### ■海の相談室（休日を除く 月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時まで）

電話番号 099-250-9800 内線(2511)

○発行する海図の包含区域



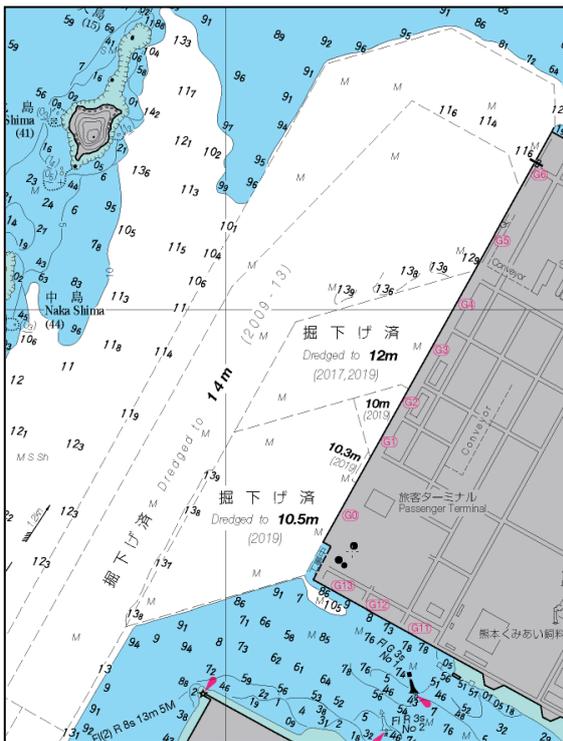
○発行する海図と測量成果を反映した区域(赤枠 )



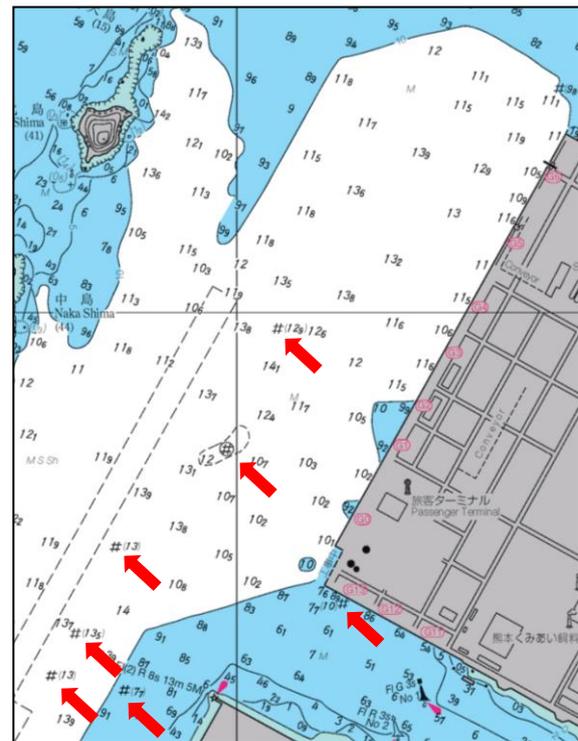
○測量船いそしお



○これまでの八代港の海図  
(利用する船舶に合わせて岸壁等の水深が掘り下げられている)



○改訂した八代港の海図  
土砂流入により水深が浅くなり、  
水中に障害物が存在する)



矢印の位置(#)は発見された障害物